

「試練による成長」

ヤコブの手紙 1章1～4節

2021.8.1

1. 序

この手紙の特徴

信仰生活における実践的な面を重視して記されている。→ 行ないの重要性

1:22 「みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」

(パウロの手紙との比較)

パウロの手紙 → _____

ヤコブの手紙 → _____

2. あいさつ 1:1

「国外に散っている」— 当時のローマ世界に広く散在している。

散った理由 → _____

使8:1、8:4

使11:19 「ステパノのことから起った迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行った。」

使9:1～2 サウロ(パウロ)のダマスコ行き目的

「十二の部族」— ユダヤ人キリスト者

3. 試練に対する応答 1:2

「試練」^ギ ペイラスモス — 「試練」(1:2、12)とも

「誘惑」(1:13、14)とも訳せる言葉

〔 試練 — 私たちの信仰を試し強めるために神が用いる方法

誘惑 — 私たちを罪に引き入れるためにサタンが用いる方法

「会うとき」— 与えられた時、受ける時

使14:22

Ⅱコリント11:23～27 — パウロの人生は多くの苦難の連続

しかしパウロは喜びを失わなかった。

ピリピ人への手紙 (喜びの手紙とも)

「喜びと思いなさい」→ _____ の意

命令形 なぜなら

→ その理由を3節、4節で説明

→ 人間的には最も好ましくない状況の時にも最高の喜びを持つことが出来る。

ローマ5:3 「患難さえも喜んでいます」

Ⅰペテロ1:7a 「信仰の試練は、火を通して精錬されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって」

→ キリスト者にとって試練は純金よりも大切なもの(非常に価値がある)である。

a. 自分の子供に対する愛のむち

ヘブル12:5～7 (箴言3:11～12を引用)

→ 試練は神の怒りではなく、神の愛のあらわれである

b. キリストと同じような苦しみに会うことを喜びなさい

Ⅰペテロ4:12～13 「何か～怪しむことなく」

→ 試練の背後で、キリスト者を信仰的に強く成長させる神の善なるご計画を見るように。この試練は、神のみこころによるのであるから喜んで受け取りなさい。

4. 試練による変化 1:3

「ためされる」— 信仰が試練によって練られていく過程

「忍耐」[㊦] ヒュポモネー ただ単に耐えることではなく、試練に打ち勝つ力

(ロイド・ジョンズ先生は)

┌ 辛抱強く持ちこたえる力

└ 辛抱強く進み続ける力

(3節の要点)

信仰が試練によって練られる時、私たちの内に変化が起きる。その変化とは、忍耐が作り出されていく。

5. 試練による成長 1:4

① 完全な者となる

「働かせなさい」— 作用させなさい、用いなさい、使いなさい

試練によって強められた(作り出された)忍耐を十分に用いなさい。そうすれば

「完全な者」— 罪のない完全をいうのではなく、キリスト者としての品性

における霊的成長を強調している。神と人に仕えるにふさわしい者

→ 霊的に成熟した大人となる。

a. โรม 5:4 「練られた品性を生みだす」

「練られた」— 純度が増していく様子

→ 私達の品性が増々、イエス・キリストに似た者へと変えられていく。

b. เฮブル 12:10b~11

神は、私達にどんな試練が必要かをよくご存知である。

→ 故に、その試練は私達にとって益となるものである。

試練には、苦痛が伴うので、悲しく思われるかもしれない。がしかし、後には私達の内には素晴らしい実を实らせる。

「平安な義の実」— より信頼する神との正しい関係により、キリスト者と

してふさわしい霊的に豊かな実

→ 試練という刈り込みによって結ぶ実は、霊的に豊かな実が私達の内実する。

与えられた試練に絶望していないか

“ は私たちを成長させる神のご計画である

ウォーレン・W・ワーズビー

「もし私たちが神にゆだね、神により頼んで、神が私たちにするように告げておられることに従うなら、神は人生の試練の中で、ご計画を達成して行かれます。

困難は私たちの信仰を増し加え、祈りの生活を強めてくれるのです。

また私たちを他のキリスト者にいつそう近づけ、重荷を負い合うようにさせてくれます。困難はことに、神の栄光を現わすためにも用いられます。

それで、試練の中にある時、神があなたにとって何であるか。また、神が

あなたのために何をしてくださるかを思い起こしてください。」